

令和5年11月21日

大藪小学校 保護者様

輪之内町立大藪小学校
校長 宇佐見 嘉之

令和5年度「全国学力・学習状況調査」の結果について(お知らせ)

晩秋の候、皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

さて、4月に実施されました全国学力・学習状況調査の結果より、成果と課題を分析したものをもとに、今後の教育活動についてお知らせします。

1 大藪小学校の学習状況

今年度の「全国学力・学習状況調査」では、国語・算数の2教科の学力調査が実施されました。各教科の結果の概要は次の通りです。

【国語】※全国平均のポイントより○優れている項目△低い項目●全国的にも大藪小学校でも正答率が低かった内容

- 図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する。
- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができる。
- 送り仮名に注意して、漢字を文の中で正しく使うことができる。
- 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめる。
- 必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの内容を捉えることができる。
- 目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる。
- △原因と結果など情報と情報との関係について理解している。
- △目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付ける。
- △情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使う。
- 図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する。

【算数】

- 伴って変わる二つの数量について、表から変化の特徴を読み取り、表の中の知りたい数を求める。
- （ ）を用いた式や、加法と乗法の混合した式を場面と関連付けて読み取る。
- 「以上」の意味を理解し、示された表から必要な数を読み取る。
- （2位数）÷（1位数）の筆算について、図を基に、各段階の商の意味を考える。
- 二次元の表から、条件に合う数を読み取る。
- 示された棒グラフと、複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見いだした違いを言葉と数を用いて記述できる。
- △百分率で表された割合について理解している。
- △台形の意味や性質について理解している
- 高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大きさを判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できる

2 児童質問紙の結果について

質問紙では、学校や家庭、地域での生活や活動の様子、学習意欲などを問うアンケートに答えました。アンケートの結果から、以下のような傾向があることが分かりました。

※全国平均のポイントより ○優れている項目 △やや低い項目

- 毎日、同じくらいの時刻に起きている、寝ている。
- 携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っている。
- 先生は、あなたのよいところを認めてくれている。
- 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれている。
- 学級の友達との間で話し合う活動では、相手の考えを最後まで聞き、友達の考えを受け止めて自分の考えをしっかりと伝えている。
- 人が困っているときは、進んで助けている。
- いじめは、どんな理由があってもいけないことだと考えている。
- 人の役に立つ人間になりたい。
- 学校に行くのは楽しい。
- 友達関係に満足している。
- 今住んでいる地域の行事に参加している。
- △自分には、よいところがある。
- △国語・算数の勉強は好き。
- △学校の授業時間以外に、普段（平日・休日とも）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしているか。（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）

3 今後力を入れていきたいこと

1・2の結果を踏まえ、今後力を入れていきたいのは以下のことです。ご家庭でも、お子さんへの励ましや見守りをよろしくお願いします。

- ◇学校生活全体の中で、今後さらに力を入れていきたいこと
 - ・日頃から書くことを習慣付けていきたい。また、書くときには問題にある条件に合致するように、文章を書くことを指導していく。
 - ・今後もドリルに丁寧に取り組ませたり、漢字の意味や用法についても理解させたりしていく。さらに、同音異義語等の漢字についても理解を進める。
 - ・知識・技能について成果が出てきている。授業の終末で習熟の時間を確実に確保することや、タブレットを活用することなどを継続していきたい。
 - ・「自己肯定感」の低い児童が多い。よさをさらに伸ばしていけるように、認め励ましの指導を継続していきたい。
 - ◇家庭で取り組んでいただきたいこと
 - ・「早寝、早起き、朝ご飯、朝トイレ」の基本的な生活習慣づくりをする。
 - ・テレビやゲーム、インターネット等に関わる家族の約束や、町の情報モラル宣言を守る。
 - ・学習時間の確保と学習の見届け（ノートの点検、励ましの声かけ、家庭学習パワーアップ週間の励ましなど）をする。
 - ・読書（学年相応の本）をしたり、新聞を読んだりして、文章を読む機会を増やす。
- よろしく願いいたします。